

製品名: WIT1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19907

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	WT1-AS WIT1
別名	Putative Wilms tumor upstream neighbor 1 gene protein (WIT-1;Wilms tumor-associated antisense RNA)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q06250
免疫原	ヒト WIT1 由来の合成ペプチド AA 範囲: 20-100

背景

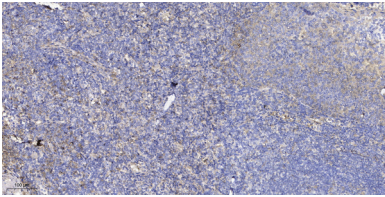
この遺伝子はウィルムス腫瘍 1 (WT1) 遺伝子上流に位置し、これら 2 つの遺伝子は同じプロモーター領域から双方向に転写され

ます。この遺伝子は腎臓でインプリンティングされ、父方アレルから優先的に発現します。染色体 11p13 のインプリンティング欠陥は腫瘍形成に寄与する可能性があります。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]、細胞増殖、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。